

## 【(7) 板書】

### ①「キーワードを用いている」

#### 《つまづきの背景》

C 記憶力の弱さ、D 文脈を理解することの困難さ、H 刺激の選択の困難さ

#### 《解説》

大事な言葉やキーワードを提示することで、授業の要点が分かりやすくなり、授業展開が整理され、子どもが授業を振り返りやすくなります。また、いつでも見て確認できるため、子どもが安心して授業に取り組めるようになります。

学級の中には、聞いたことを覚えるのが苦手な子どもや、刺激に敏感に反応して言われたことを聞き逃してしまう子どもがいる場合があります。キーワードを視覚的に提示することは、それらの困難さを補うことにもつながります。

キーワードを小黒板やカード等にあらかじめ書いておくようにすると、必要なときにすぐに提示できます。

#### 【工夫点】

- ・授業の目標・課題を黒板に提示する。(小中高)
- ・キーワードを短い言葉で提示する。(小中高 工夫例 48)
- ・つぶやきなどの重要なキーワードは、吹き出しを使ってまとめる。(小 工夫例 49)

#### ◆工夫例 48 「キーワードを短い言葉で提示する」

みんなで	どちらが
のこりは	おい
ぜんぶで	すくない
ふえると	
ちがいは	
あわせると	

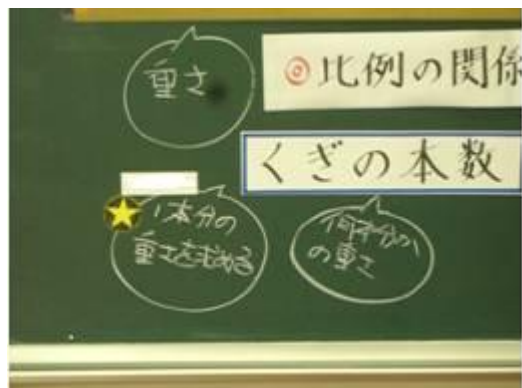
ドッジボールをしています。なかに7にんいます。そこに4にんいます。  
どちらが おおい  
ですか。

しき  $7 - 4 = 3$   
こたえ なかが3にんおおい

#### 《小学校》

足し算や引き算を表す言葉には表現がいろいろあり、問題を作るときに、子どもが迷ってしまう場合があります。それらの言葉をカードにしておいて、子どもが注目できるようにしておくことで問題を作るときの手助けになります。

#### ◆工夫例 49 「つぶやきなどの重要なキーワードは、吹き出しを使ってまとめる」



#### 《小学校》

子どものつぶやきや、気付いたこと、考えたことを吹き出しを用いて表現することで、友達の考えを参考にしたり、共有したりしやすくなります。記憶が苦手な子どもも見えて確認できるので、理解しやすくなり、自信のない子どもも、自分の考えを発表しやすくなります。